

JSA 神奈川支部通信

No. 3 March 2025 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：https://jsa-kanagawa.jp、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円, 院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどいの報告 後藤仁敏
- ◆ マイクロプラスチックが人間の脳に浸透する—人体への影響 惣田昱夫
- ◆ 県弁護士会が加藤陽子さん講演会「戦争への道—その時学問は」を開催 後藤仁敏
- ◆ 自宅を襲った土砂災害の対応を巡って 神奈川民間懇 北山宏之
- ◆ 日本民主青年同盟第 48 回大会での挨拶 全国革新懇代表世話人 後藤仁敏
- ◆ 本の紹介：『藍を継ぐ海』（伊与原新著、新潮社） 後藤仁敏

「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどいの報告

後藤仁敏

2025年2月11日、「建国記念の日」に反対する神奈川県民のつどいが開催され、125人が集まりました。

はじめに、実行委員の私が、建国記念日とは何か、なぜ反対するかについて基調報告しました。紀元節は明治政府が富国強兵を進める為に神話にもとづいて決めたもので、その復活は日本を再び軍事国家にするためであり、その総仕上げとなる憲法改悪を許してはならないと呼びかけました。

志田陽子さんの講演

ついで、武蔵野美術大学教授の志田陽子さんが「平和憲法と《シンボルの政治》を考える」と題して、次のように講演しました（図1）。

私の音楽活動として「ダニーボーイ」の歌の動画を紹介する。戦争で亡くなって還れない人、戦争でPTSDになって元の生活に還れない人を想い、平和を願うシンボルソングになっている。

シンボルの政治とは、実力による強制ではなく、価値や方向を示すことで影響を及ぼしていく政治手法。直接に価値や方向を示すのが憲法や法律であるのに対し、何らかのビジュアルや人物にこれを託すのが《象徴》。民主主義の社会ではシンボルの政治のウエイトが高くなる。それ自体が全か悪かという問題ではなく、善にも悪にも使われ得るものである。「くまモン」のような地方自治体の公認キャラクターが地方活性化のために活動することは各自治体の裁量に委ねられている。日本国および日本国民統合の象徴は憲法上強い制限を受けている。

2016年に国連女性差別撤廃委員会が公表した日本への「見解案」には、男子にしか皇位継承権を



図1 講演する志田陽子さん

認めない皇室典範の見直しが含まれていたが、日本政府の抗議で削除された。2024年に同委員会が出した見解にも同じ内容があり、2025年に日本政府は同委員会への負担金を出さないと決定した。確かに、この制度は「法の下での平等」の違反にはならないが、同委員会は女性が排除された位置に置かれていることを言おうとしたのである。日本政府がこれを「不適切」というならば、日本社会が実態として差別撤廃の課題をこれだけ達成している、と言えなければならない。

トランプ大統領は、負のシンボルを利用しており、今回は性的マイノリティの存在と権利をその対象とした。1950年代から1960年代には「共産主義者」が80年代には同性愛、人工妊娠中絶、人種差別是正政策が府のシンボルとなった。「トランプ現象」はこうした傾向が一人に大統領キャラクターによりシンボルとして極度に演劇化された現象である。

日本でも11年の東日本大震災以後の「生活保護不正受給者」報道で、「不正」受給問題が「生活保護者叩き」になってしまった。負のシンボルとされたマイノリティの人びとが憎悪の対象にされてしまった。民主主義における感情の動員自体は憲法問題にはならないが、憲法政治と民主主義に歪みを与え、人権状況に害を及ぼすことがある。だれがその発言をしているかを明確化しなければならない。負のシンボルによる民主主義の歪みを正すには、言論の道を開き続けることが必要だ。

現在の日本では、象徴天皇の在り方、「文化の日」を「明治の日」に変えようとする動き、平和のシンボルや民族融和のための記念碑が撤去されていることが問題だ。その中で、2022年3月にウクライナ戦争勃発時に参議院が出した声明は、平和的生存権に言及しており、シンボリックな価値をもっている。一方、23年の広島サミットは平和の構築のシンボルとなる行事が、日本の防衛産業解禁を示すイベントになってしまった。22年の安倍「国葬」は、議論を無視したシンボル政治の典型となった。

今日、核兵器すら「抑止」のシンボルとして利用されている。このようなシンボル感覚を解毒し、平和のシンボルを回復することは市民にもできる。

2つのフロア発言など

休憩の後、2つのフロア発言があった。まず、原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会事務局長の新倉泰夫さんは、神奈川の基地問題について次のように発言しました。神奈川には主要な12の米軍基地がある。在日海軍司令部がある横須賀基地、米第7艦隊の空母艦載機が本拠としている厚木基地、在日米陸軍司令部があるキャンプ座間、米軍揚陸艇部隊を配備した横浜ノースドックである。都市化が進んだ本県では、騒音・爆音、米兵犯罪、環境汚染、オスプレイなどの墜落の危険性が、県民の安全を脅かしている。神奈川新聞は今年1月5日、「戦争する国にさせない」との素晴らしい社説を掲げた（図2）。



図2 発言する新倉泰夫さん

県治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟県本部長の小澤睦夫さんは、次のように発言しました。治安維持法は1925年に制定され、1945年に廃止されるまで、数十万人を弾圧したにもかかわらず、政府は賠償の必要はないとしている。県同盟は11支部、700人からなり、1000人をめざしている。これまで51回にわたって1028万筆の請願署名を集め、紹議員も120人以上にのぼっている。



図3 発言する小澤睦夫さん

3月1日に、第22回神奈川七沢多喜二祭を伊勢原市民文化会館で開催するので、多くの皆さんの参加を呼びかけます（図3）。

その後、志田さんが寄せられた参加者からの多くの質問に丁寧に答えました。

最後に、「国家権力者のための憲法改定を認めないこと、戦争は人びとを犠牲にするものであり、どんな戦争も人びとに対する犯罪であって、私たちはあらゆる戦争に反対し協力しないことを改めて決意し、これを表明します」との集会アピールが読みあげられ、大きな拍手で採択されました。

当日の私の基調報告は以下のとおりです。

「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい基調報告

2025 年 2 月 11 日 後藤仁敏

「建国記念の日」とは？

「建国記念の日」とはどういう日なのでしょうか。なぜそれに反対するのでしょうか。それぞれの国には建国記念日とか独立記念日があり、どの国でも盛大に祝います。中国は 10 月 1 日が「国慶節」で、1949 年 10 月 1 日に中華人民共和国の建国式典が行われた日です。アメリカでは 7 月 4 日が独立記念日で、これは 1776 年 7 月 4 日にイギリスとの独立戦争に勝利して、独立宣言が公布された日です。

日本の「建国記念の日」2 月 11 日は、1873 年に明治政府が、8 世紀に編纂された「日本書紀」に書かれた神話にもとづいて、紀元前 660 年 1 月 1 日を新暦に換算して 2 月 11 日として、この日を初代天皇とされている架空の人物、「神武天皇」が即位した日として「紀元節」と決めました。国の起原が今から 2685 年前、制定当時からは 2433 年前という大昔とされたのに、定めたのは今から 152 年前というごく最近のことなのです。江戸時代以前には「紀元節」はなく、「紀元節」は明治以降のもので、「紀元節」は、明治政府が富国強兵を進めるために、専制的な天皇制によって国民を統制するためにでっち上げたものなのです。

「紀元」というのは年を数える基準となる最初の年のことで、西暦の「紀元」はイエス・キリストが誕生したといわれる年を基準にした「キリスト紀元」、これが今、世界の「共通紀元」とされています。これに対し、「紀元節」は「神武天皇即位紀元」、略して「神武紀元」と呼ばれるものです。歴史学では、紀元前 660 年は弥生時代で、まだ日本には統一政権はなく、ヤマト王権が形成されたのは 3~4 世紀、古墳時代になってからです。

見のがせないのは、戦前の天皇制政府が、国民に軍国主義を浸透させ、侵略戦争に動員するために、「紀元節」を利用したことです。日清戦争、日露戦争、そしてアジア太平洋戦争へと進みましました。

戦後、1948 年に「紀元節」は占領軍 GHQ によって廃止されました。しかし、「紀元節」復活を狙う右派勢力により、1966 年 6 月に国会で祝日法が改定され、翌年 1967 年 2 月 11 日、大雪の日に「建国記念の日」として復活されました。当時大学 2 年生だった私は、「同盟登校」と称して大学に集まり、紀元節復活反対集会を開きました。それから 58 年、ずっと反対運動を続けてきました。この神奈川県民のつどいもその頃から始まったと聞いており、58 年の歴史をもつ集会なのです。

戦前回帰の経過

この「紀元節」復活は、その後の日本の戦前回帰・右傾化の始まりになりました。1979 年には、元号法が制定されました。もともと元号は古代中国で、漢の武帝が皇帝は空間だけでなく時間も支配するという、時空統治権をもつという思想から定められた制度でした。戦後、皇室典範の改定で元号の規定が消え、元号使用の法的根拠がなくなりました。しかし、元号法の制定により、それまで任意であった元号が公の書類では強制的に使用されることが多くなりました。それでも昭和から平成、令和となって元号は国民の意識からは遠くなりつつあります。2025 年が令和 7 年だと言える人は多くないです。今、世界で元号を使用しているのは日本だけという状況です。日本は古代の制度を残している、まさに「生きている化石」です。

日本の右派勢力は、その後、1997 年には「新しい歴史教科書をつくる会」を結成して、扶桑社、横浜でも使用された自由社や育鵬社の教科書をつくりました。侵略戦争を美化し、日本国憲法を敵

視し、帝国憲法を正しいとする異常な教科書でした。1999年には、「日の丸」を国旗、「君が代」を国歌とする国旗・国歌法が制定され、強制はしないと言いながら強制され、起立しない、歌わない教師が処分される事態が起きました。

そして、2006年、第一次安倍内閣は教育基本法を改悪し、愛国心を盛り込みました。それがもとになって横浜でも自由社や育鵬社の教科書が採択されたのです。2009年の18区中8区での自由社の採択から、2020年8月に他社が採択されるまで、じつに12年間も「つくる会」系教科書が横浜の中学校で使用されました。歴史教科書は、神話を事実のように教え、旧石器時代以来の大陸・半島と日本列島との交流を無視し、侵略戦争を美化した異常な教科書でした。公民教科書は、日本国憲法を軽視し、国民の権利よりも権利の制限と義務を教える、天皇よりも安倍首相の写真の方が多く出てくるといふ異常な教科書でした。2015年には、戦前の修身の復活を目指して道徳が教科化されました。昨年文科省の検定を通過した令和書籍の中学校「国史教科書」には建国神話を復活させています。

このような日本の戦前回帰を推進してきたのが安倍元首相でしたが、2022年7月、参議院選挙の最中に銃撃され、そのことによって安倍氏をはじめ多くの自民党などの政治家と旧統一教会・国際勝共連合が異常な関係にあったことが暴露されました。日本の信者から巻き上げた莫大なお金が韓国の教団本部や北朝鮮にまで運ばれ、活動資金になっていたこと、自民党議員に、選挙スタッフから秘書まで教団から信者が派遣されていたこと、安倍元首相が提起した自民党の4項目改憲案の9条への自衛隊明記と緊急事態条項が勝共連合の改憲案とそっくりなことなど、驚くべき事実が明らかになりました。2022年9月には国民の反対を押し切って、何の法的根拠もなく、安倍元首相の国葬を強行しました。

石破内閣による大軍拡・改憲の動き

この間、安倍内閣から菅内閣、岸田内閣、そして石破内閣へと代わりましたが、対米従属の大軍拡路線を進めています。海外ではロシアとウクライナの戦争、イスラエルのガザ地区への攻撃も起きました。これらの戦争や中国・北朝鮮の「脅威」を口実に、憲法9条があるのに、自公政権はこれまでの専守防衛を大転換する安保3文書を閣議決定し、アメリカの要請をもとに防衛費を5年間で43兆円とする大軍拡を進め、自衛隊を米軍の指揮下に入れ、敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有をめざしています。横浜港のど真ん中、瑞穂ふ頭のノースドックには、米陸軍揚陸艇部隊の配備も県民の反対を無視して進められて、南西諸島の軍事要塞化と一体となって横浜が米軍の出撃拠点とされようとしています。

国会では、2021年の衆議院選挙、2022年の参議院選挙で、衆参両院で改憲勢力が3分の2以上の議席を占めたことで、自民党、公明党、維新の会から国民民主党までが改憲を進めようと国会で毎週憲法審査会を開いてきました。しかし、自民党の裏金づくりに国民の怒りが沸騰するなか、昨年の総選挙では、自公与党が過半数割れを起こしただけでなく、改憲勢力とされる自民・公明・維新・国民に参政党や保守党まで合わせても、衆議院では3分の2の310を下回る287になりました。今年の参議院選挙でも改憲勢力を減らし、参議院でも3分の2以下にすることが期待されます。

戦前のような「戦争できる国づくり」の最初が1966年の「紀元節」復活でしたが、今、その総仕上げとして、憲法改悪が強行されようとしている動きを許してはなりません。

今日の集会の成功のために

今日は東京はじめ全国各地で「建国記念の日」反対の集会が開催されています。この集会もそれらと連帯しています。紀元節復活に反対し、軍事大国化を許さない私たちの初心に帰り、志田陽子さんの「平和憲法と《シンボルの政治》を考える」の講演を聞き、平和憲法について学び、戦争でなく平和への道を進もうではありませんか。

皆さん、最後まで参加され、集会を成功させてくださるよう心からお願い申し上げます。

2025年2月3日付けの医学誌「ネイチャー・メディシン」に「Plastic shards permeate human brains, プラスチックの破片が人間の脳に浸透する」として正式に掲載されました。新聞各社、テレビや幾つかのネット情報で掲載されましたからご存知の方もおいでだと思います。研究対象としてプラスチック汚染や環境ホルモン物質等の研究をして、海洋汚染の深刻さについて何回も話をしていたものとして、本報告のプレプリントの段階で注目していたものとしてかなり深刻に受け止めています。その内容を少し紹介しましょう。論文は米デューク大学とニューメキシコ大学のグループの発表で、昨年8月に査読前の論文でしたが、正式の論文として採用されたものです。論文の要旨は、「1997年に亡くなった人々から収集された91の脳サンプルでMNP（マイクロ、ナノプラスチック）を2016年から2024年にかけて測定したところ、すべてのサンプルの測定値で年々大幅な増加を示した。MNPの濃度の中央値は3,345 $\mu\text{g/g}$ から4,917 $\mu\text{g/g}$ と約50%増加した」という内容です。図1の写真が掲載されています。

また、脳組織のMNP濃度は他の臓器と比較して約10倍高い、主成分はポリエチレン、形状は薄い鋭利な破片状、認知症患者は高濃度という内容です。これまで「血液脳関門」と言われてきた防御システムがマイクロプラスチックの侵入を完全には防げていないことを示しています。新型コロナウイルスでも脳内への侵入が言われていましたが、そのことを踏らずしも裏付ける結果となっています。さらに最近の中国の大学の研究のマウスの実験でMNPが2~3時間で脳血管に到達するという報告もあります。昨年9月にも世界的に注目される論文が出ています。イタリアのカンパニア大学

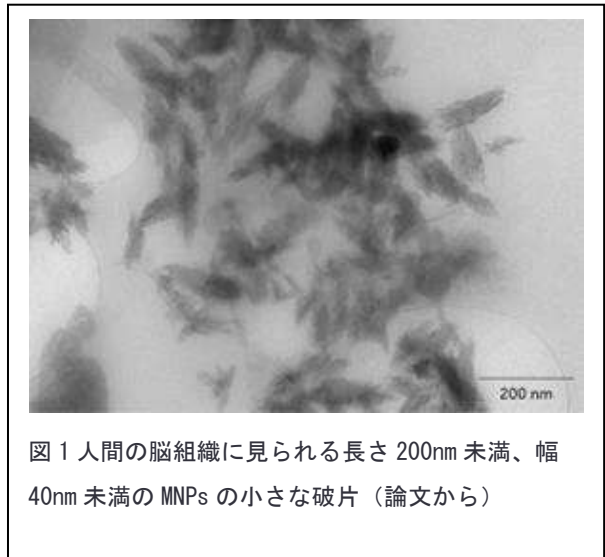


図1 人間の脳組織に見られる長さ200nm未満、幅40nm未満のMNPの小さな破片（論文から）

ルイジヴァンヴィテッリらの研究グループの論文ですが、体内に侵入する化学物質を含んだ小さなプラスチック片が心臓の健康にどう影響するかを調べています。257人の患者に対して術後3年近く追跡がおこなわれ、58.4%にあたる150人の患者の頸動脈プラークからポリエチレンが検出されています。また、12.1%にあたる31人の患者にも、測定可能な量のポリ塩化ビニルが検出されたと報告されています。特に注目するのは、頸動脈プラークのできた患者は心臓発作と脳卒中のリスクが高まっていることを明らかにしました。

他にベルリン自由大学（ドイツ）の研究チームは「鼻粘膜が脳脊髄液と相互作用し、鼻の奥の骨構造（篩骨）の微細な「穿孔」を介してマイクロプラスチックが嗅球に侵入する」、また「プラスチック粒子に染色を施し、体内でどのように相互作用するかを追跡するためにヒトの腸から細胞を取り出した。すると24時間後、腸内で粘液を生成する特定の消化細胞が、大量のマイクロプラスチックやナノプラスチック粒子を吸収していることが判明した」という報告もあります。

これらの報告を見ると、まさにマイクロプラスチック削減の対策は待ったなしの課題だといえます。何故なら、プラスチックは単なる環境問題というだけでなく、人間の健康問題となってきているからです。これまで汚染の内容はマイクロプラスチック（MP：直径が5mm以下のもの図2）が取り上げられその汚染が問題視されてきましたが、今回の報告では、さらに微細なナノプラスチック

クが問題となっています。ナノプラスチック（NP：直径が1nmから1μmの大きさ）は名前の通り、微生物よりさらに小さな固形物として直接細胞に入り障害を起こしているという報告です。これまで広く認識されていたのは、1) プラスチックは有害物質を吸着する、2) 魚が接種し、生物濃縮される3) 私たちが魚を食べる、これにより人体への影響が出るとされてきましたが、今や腸等から吸収されたNPが血液内に入り、頸動脈プラークを作ったり、脳へ運ばれて蓄積したりしており、まさに直接人体への取り込みと人体への影響、病気へと進んでいくことが明らかになったことです。



以前空気中のMPが問題となっていました。NHK、クローズアップ現代で取りあげられていた早稲田大学の大河内博教授の富士山で調査した大気中から髪の毛の太さの半分の25nmというNPが、他にもポリエチレン、ポリプロピレン、ポリカーボネートなど目に見えない大きさのNPも検出されています。日本でも農工大の高田教授らのグループは血液中からポリスチレンが検出されたと報告しており、大気中だけでなく飲み水なども汚染されている可能性もあり、今問題となっている有機フッ素物質（PFAS）だけでなくMNPなどの検査も必要となってくるかもしれません。世界では現在まで8747本のMNPの毒性に関する研究論文が報告されています。今後もMNPに関する新しい知見が出てくるものと予想されます。

四方が海に囲まれた海洋国日本にとって、プラスチックや化学物質等による海洋汚染は見逃すことのできない問題です。日本の海洋調査でも明らかになってきましたが、3000mの海底にも軽い素材のプラスチックがたまってきているほど汚染が進んでいるということです。

MNPによる人体への影響は軽くて丈夫な資材のプラスチックですが、プラスチック汚染は今や単なる環境問題でなく健康問題となってきていることに注視する必要があります。

次回、海洋のプラスチック汚染はいくつかの成書や環境研の研究報告がありますが、プラスチックの海洋汚染と地球温暖化の問題との関連はあまり取り上げられていません。海洋のプラスチック汚染問題と温暖化について取り上げその対策を考えてみたいと思います。

参考文献

- 1) マシュー・カンペン他、Plastic shards permeate human brains, ネイチャー・メディシン、2025/2/3
- 2) NHK クローズアップ現代、2025/2/4 放送
- 3) 高田秀重、プラスチックによる生体影響と予防的対策、日本の科学者、Vo1. 58, No2, 2023
- 4) 各種新聞やCNN ニュース等

県弁護士会が加藤陽子さん講演会「戦争への道—その時学問は」を開催

後藤仁敏

2025年2月4日、神奈川県弁護士会が憲法問題シンポジウム「戦後80年企画・加藤陽子さんが語る」を横浜市開港記念館講堂で開催し、用意した資料が足りなくなるほど会場いっぱいの参加者が集まりました。

はじめに、岩田武司会長が「戦後 80 年を迎えたが、戦前 80 年は戦争の時代であった。戦争体験世代が少なくなるなか、日本はどの道に進むのか、歴史学者で東大教授の加藤陽子先生の講演から学びたい」と開会の挨拶を述べました。

加藤陽子さんの講演

加藤陽子さんは「戦争への道—そのとき学問は」と題して、以下のように講演しました。

私はこれまで、戦争について書いてきました。ルソーによれば、戦争とは国家間の関係で、相手国の社会秩序を変えようとする行為である。歴史とは、漢字文化圏では「歴」は軍功を重ねること、「史」は祭（政）事を記録する者を意味する。英語圏では history は出来事や現象についての語り、過去の次章およびその関連のことである。歴史家は、作者の「問い」を発掘し、意図を考える。伊藤博文は条約改正のために万世一系の皇統の故に安徳天皇陵を決定した。

歴史家は国論を二分する鋭い意見対立がある時、その根幹は何かを考える（トランプ圧勝と言われたが、実際は 7700 万対 7500 万のわずか 200 万票差でしかなかった）。

1930 年には浜口首相が狙撃され、31 年には満州事変が起きている。32 年には第一次上海事変、犬養首相が刺殺されている。30 年代の日本社会の緊張の根幹には、日本の軍艦を減らす軍縮条約の調印があった。

東郷平八郎は「日本の武力が畏敬すべきもので亡くなったら東洋の平和は忽ち乱れる」と言った。一方、幣原喜重郎は「三国（日英米）間の友好的諒解あってこそ、極東における日本の地位は鞏固を加え、世界の平和は有力なる保障を得られる」と述べた。

国論を二分する対立が起こると、政策のすり合わせ、統合のための熟議がなくなる。30 年末、陸軍参謀本部作戦課員の河辺寅四郎は「海軍自体が信ずるところなきまでに海軍兵力を有し得ぬならば、彼の至難なる作戦を決行し、未開瘴癘の地に多くの陸兵を送りて、これを疾病、飢餓、敵刃の下に斃死全滅せしむることは断じて止むべきなり」と悲鳴をあげていた。

満州事変の意図は、鉄道輸送と食料調達のため、日ソの対峙する線を北に上げ、全満州を軍事占領することだった。

30 年から 33 年には、海軍省から海軍軍令部に実権が移行され、35 年には美濃部達吉の天皇機関説が禁止された。33 年には、天皇周辺の宮中側近からリベラル派が排除され、39 年 1 月には天皇も「どうも陸軍にも困ったものだ。要するに各国から日本が強ひられ、満州、朝鮮をもととにしてしまはれるまでは到底目が覚めまい」と諦めている。41 年には崎秀美は「屈服は敗戦の後初めて可能である」と書いている。

質疑応答ほか

講演後、3 名の弁護士がそれぞれ質問し、加藤さんは丁寧に答えました。台湾有事については台湾海峡封鎖に注目すべきであること、沖縄・琉球の希少性と価値を大切にすべきであること、学術会議問題については、学術会議が明らかにしている 5 要件、①国を代表する機関、②公的資格、③国会財政支出による安定した財政基盤、④活動面での政府からの独立、⑤会員選考における自主性・独立性が重要であると回答しました。

最後に、憲法問題対策本部の石黒康仁弁護士が、閉会挨拶と加藤さんへのお礼を述べてお開きとなりました。

歴史学者の話聞くのは学生時代に家永三郎氏の「太平洋戦争史論」の講義を聞いて以来でしたが、非常に興味深く学ぶところの多い講演でした。

昨年8月末の土砂災害から約4ヶ月経過して、ようやく損害保険金が振り込まれた。ところが建設会社に依頼した土砂撤去費用約107万円に対して保険金は約70万円しか支給されず、公的助成14万円を受けたが差し引き23万円不足するという困ったことに直面した。

結局は、建設会社と、崩れた畑の所有者の農家の方と話し合い、私が保険金で出た70万円、農家の方が23万円支払うということで何とか合意できてほっとしている。

以下はそうなった経緯をまとめた。

まずは、ChatGPTに相談してみた。

質問：昨年8月末の豪雨によって、隣の畑の斜面が崩れ、土砂が私のリビングに流れ込み、床上浸水となった。畑の持ち主の農家の方が、建設会社に土砂の撤去を依頼し、撤去完了後に建設会社から私宛に約100万円の請求書が届いた。私が支払わないといけないのか？

ChatGPの答：このような場合、基本的に次のような法律的な観点から対応が検討されます。

1. 原因者負担の原則

日本の民法では、他人に損害を与えた場合、損害を与えた側がその損害を賠償する義務があります（民法709条・715条など）。

この場合、隣の畑の斜面崩壊が豪雨によって起きたとはいえ、隣の畑の管理に不備があったと考えられるなら、その畑の所有者である農家の方が損害賠償義務を負う可能性が高いです。

2. 請求の不当性

建設会社が直接あなたに請求書を送付してきたことは、正当ではない可能性があります。あなたは建設会社に直接依頼をしていないため、建設会社と契約関係にないと考えられます。このため、建設会社に支払い義務を負う必要は基本的にありません。

請求の相手方は、畑の持ち主である農家の方であるべきです。建設会社の請求書があなたに届いた場合でも、支払う義務がないことを明確に伝えるべきです。

3. 具体的な対応

以下の対応を取ることをお勧めします：

- 建設会社に事実確認をする
 - なぜあなたに請求が送られてきたのか、明確な理由を確認してください。
 - 「私が依頼したわけではないため支払う義務がない」と伝える。
- 畑の所有者と話し合う
 - 農家の方に状況を説明し、責任を果たしてもらうよう求めます。
 - 必要に応じて、損害賠償請求も検討できます。
- 弁護士に相談する
 - 建設会社や農家の方との交渉が難しい場合や、請求が続く場合には、法律の専門家に相談することをお勧めします。
 - 法律相談は市区町村の無料相談窓口や法テラスなどで行うことも可能です。

4. 注意点

豪雨という「不可抗力」の影響である場合、完全に畑の所有者の責任とは言い切れない場合もあります。ただし、畑や斜面の適切な管理を怠っていたと認められる場合には、責任が生じる可能性が高いです。

まずは建設会社と農家の方との間での状況を整理し、必要に応じて法的対応を検討してくだ

さい。

再質問:被害回復のためのリフォーム費用は、損害保険から保険金が出ているのだが、すべて私が出すべきなのか？

ChatGP の答：損害保険から保険金が出ている場合でも、あなたがすべての費用を負担すべきかどうかは、以下の点を考慮する必要があります。

1. 保険金でカバーされる範囲の確認

損害保険契約では、保険金が「被保険者（あなた）」の損害を補填するために支払われます。しかし、これは損害を与えた第三者（この場合、隣の農家の方）の責任を免除するものではありません。

ポイント：

- 保険金が支払われたからといって、加害者の責任が消えるわけではありません。
- あなたが保険金を受け取った後でも、隣の農家の方に補償を請求する権利は維持されます（民法 709 条、弁済充当の原則）。

2. 損害保険会社が代位請求する可能性

損害保険会社が保険金を支払った場合、代位請求権が発生することがあります（保険法 25 条）。これは、保険会社が被保険者に代わり、損害の原因となった相手（隣の農家の方）に補償を請求できる権利です。

流れ：

1. あなたが保険金を受け取る。
2. 保険会社が隣の農家に損害賠償を請求する可能性がある。

したがって、保険金を受け取ったことで、直接あなたが農家の方に請求する必要がある場合もあります。保険会社が行動するかどうかを確認しましょう。

3. リフォーム費用が保険金で足りない場合

保険金がリフォーム費用の全額をカバーしていない場合、差額部分について隣の農家に請求することが可能です。たとえば、保険金が 80 万円で、リフォーム費用が 120 万円だった場合、残りの 40 万円を農家の方に請求することが考えられます。

4. 農家の方の責任を確認

隣の農家の方が責任を負うかどうかは以下に依存します：

- 斜面の管理状態
農家の方が斜面の適切な管理を怠っていた場合、過失が認められる可能性が高いです。
- 豪雨の不可抗力性
豪雨が「通常予測できない異常な天災」と判断される場合、農家の方が責任を負わない可能性もあります。

この点を確認するために、専門家（弁護士や技術者）の意見を参考にするのが良いでしょう。

5. 具体的な対応策

- 保険会社と相談
保険金の支払い後、保険会社が代位請求を行うのかを確認します。

- 農家の方と協議
農家の方と直接話し合い、残りの費用や責任分担について協議します。
- 弁護士への相談
トラブルが解決しない場合、弁護士に依頼して法的手続きを進めるのも有効です。

まとめ

- あなたが保険金を受け取ったとしても、隣の農家の方に賠償を求める権利はあります。
- 保険会社が代位請求を行う可能性があるため、その点を確認してください。
- リフォーム費用の不足分や損害に関する責任について、農家の方と話し合いましょう。

以上が ChatGP の答で、これを参考にして、次に 45 分 5000 円の費用で、弁護士に相談したところ、農家に対して損害賠償を請求することはできるが、その際には、農地の管理上の過失や土砂崩壊の予見可能性を主張する必要があり、訴訟となると、お金と時間がかかり、勝つか負けるかも分からない。今回の集中豪雨が予見可能だったとは言い切れず、現実的な対応としては、保険金で出た分は支払い、不足分は農家に負担してもらえよう、当事者でよく話し合う（示談）ことをお勧めするという事だった。

車同士の交通事故なら、加害者・被害者が決まって、保険会社同士で交渉し合うが、今回の場合は風水害の被害に対する損害保険なので加害者は想定されておらず、農地に対する保険もないので、結局まずは、当事者同士で話し合うことになった。何とか合意できて安堵しているが、いろんな長いつきあいのある、建設会社や隣の農家とお金の話し合いをするというのは当然初めてのことで、精神的に疲れ、そのせいかどうか不明だが数週間の腰痛に見舞われた。保険金が満額出ればこんな対応は不要で、損害保険会社は直接農家との交渉はしてくれず、農家の方とよく話し合ってください、としか言わなかった。保険金出るまでに 4 ヶ月もかかったこともあり、割り切れない思いが残っている。

日本民主青年同盟第 48 大会での挨拶

全国革新懇代表世話人 鶴見大学名誉教授 古生物学者 後藤仁敏

以下は、2024 年 11 月 22 日に、伊豆学習会館で開催された日本民主青年同盟第 48 回全国大会で行なった全国革新懇代表として私の挨拶です。

日本民主青年同盟第 48 回全国大会、おめでとうございます。平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）を代表して、こころから連帯の挨拶をします。私は、東京医科歯科大学（現在の東京科学大学）と鶴見大学で解剖学を教えてきた後藤です。

まず、皆さんが、今年 15 日に、今年の大会で掲げた年間 3000 人の拡大目標を達成されたことに深い尊敬の意を表します。3000 人の達成、今伺ったところでは 3216 人とのこと、これは 2000 年以來で、今世紀初の快挙とのこと、たいへんご奮闘だったと思います。街頭宣伝や食糧支援の活動の賜物です。今皆さんの報告をお聞きして感動し、こころが震える思いがしました

私は九条の会運動にも参加しており、皆さんの「若者憲法集会 2024&デモ」が 1200 人の参加で成功したこともたいへんうれしく思っています。この度の総選挙で、共産党の躍進はなりませんが、改憲勢力が国会発議のできる 3 分 2 を割り、たいへん喜んでいきます。これまで改憲派は 3

分の2以上の議席をもちながらも、安倍改憲も菅改憲も岸田改憲もできなかったのは、若者憲法集会やPiece Night 9、私たち九条の会によるの草の根の運動があったからだと思います。そしていまや、石破改憲はやりたくても国会発議ができない状況に追い込まれました。

さて、今から60年も前のことですが、私も学生時代に民青同盟員として活動しました。ちょうど60年前の自分にあっているようです(笑い)。今は筑波大学と名称を変えましたが、東京教育大学の理学部C班のキャップも務めました。私たちも拡大に取り組み、クラスの半分が民青新聞の読者に、4分の1が同盟員になりました(おおー、の声)。週に1回、民青新聞を学内に配達する任務もしていました。理学部だけで3つの班があり、数十人の同盟員がいました。

学生時代には、物理学の授業を受けていた朝永振一郎教授がノーベル物理学賞を受賞するという名誉なこともありました。また、経済学の授業を受けた美濃部亮吉教授が都知事選に立候補し、皆で青空バッチを付けて応援し、みごと当選しました(おおー、の声)。

しかし、そういう大学だったからこそ、筑波移転が文学部教授会をはじめとする多くの教員、学生、職員の反対を押し切って強行されました。旧統一協会系の世界教授アカデミーで活躍した福田信之教授が強硬派の中心でした。しかし、私たちの闘いは筑波大学の学生にも受け継がれ、筑波大学での福田一派の専制支配は13年に留まり、その後は普通の大学になっています。

先日、来年の参議院選挙の神奈川の日本共産党の候補者と決まった浅賀由香さんは筑波大学の出身で、大学の後輩として応援しています。優秀な後輩を今度こそ国会議員にするために、私も力を尽くしたいと思います。

さて、皆さんにお願いしたいことがあります。それは、若い時代にしっかり科学的社会主義を学んでいただきたいということです。私が学生時代にも、同盟員は活動が忙しくて学業がおろそかになる傾向があり、「しんぶん赤旗」に「民青同盟員はもっと勉強しよう」という主張が掲載されたこともありました(笑い)。

私の恩師は古生物学者の井尻正二といい、国立科学博物館をレッド・パージで追放された後、一時、日本共産党中央委員会の科学技術部長をしたこともある人です。私はこの人から、理論の勉強をするように言われ、家の相棒も含めて勉強会をしてくださったこともありました。

皆さんには、まず民青が指定している志位和夫議長の『科学的社会主義Q&A』と『Q&A共産主義と自由』をまずしっかり学んでいただきたいです。不破哲三元議長も多くの古典の解説書を書いています。不破さんは物理学科の卒業で、同じ自然科学を学んだ私には、経済学者が書いた本よりも理解しやすいと感じています。そして、これらを参考に、是非、マルクスやエンゲルスの古典まで読んでいただきたいと思います。

私は、恩師に言われて、今は絶版になっていますが、大月書店の『マルクス・エンゲルス8巻選集』と『レーニン10巻選集』などを読みました。その後、マルクスの『資本論』に何度か挑戦しましたが、なかなか一人では読むことができませんでした。選集は読んでもマルクスの主著を読まなくては科学的社会主義を学んだことにはならないと思い、50歳を過ぎてから神奈川県労働者学習協会主催の宮川彰先生の『資本論』講座に参加して、まず第1巻を読みました。続いて萩原伸次郎先生の第2巻・第3巻の講座で、全3巻を読み終えたのは60歳近くになりました。苦勞して読み終えた時の感慨はひとしおでした。

マルクスは『資本論』第1巻の最後で、「生産手段の集中と労働の社会化とは、それらの資本主義的な外被とは調和し得なくなる一点に到達する。この外被は粉碎される。資本主義的私的所有の弔鐘が鳴る。収奪者が収奪される」と書いています。この部分を読んだ時の感動は生涯忘れられません。『資本論第一巻』の商品から貨幣、資本、剰余価値、労賃から資本の蓄積過程に至る長い分析と考察はこの一言が言いたくて書いたものだと感じました。

是非、皆さんにもこの感動を味わっていただきたいと思います。マルクスは「学問には平坦な大道はありません。ただ、その険しい山道をよじ登る労苦を恐れない人々だけが、その輝く頂上にたどりつく幸運に恵まれるのです」（『資本論』フランス語版序言）と書いています。苦勞すればするほど、頂上にたどり着いた時の感動は大きいのです。

なぜ理論・古典を学ぶのかといえば、人間の社会も民青同盟の活動も、私たちひとり一人の人生も、まっすぐ進むことは少なく、紆余曲折やつよい逆風にあうことが多いからです。常に複雑で多面的な状況に対処しなければなりません。私の人生もいつもつよい北風に向かって歩んできました。そのような時に、同じように苦しむながら自らの科学的社会主義の理論の構築と実践をめざしたマルクス、エンゲルス、レーニンから学ぶことは大きいのです。

大会の成功と、皆さんのますますのご活躍と学習をこころからお祈り申し上げます。皆さん、ともに頑張りましょう！（拍手）

本の紹介：『藍を継ぐ海』（伊与原新著、新潮社）

後藤仁敏

昨年放送された著者原作のNHKドラマ『宙わたる教室』を見て、教育の原点を示した作品としてつよく感動し、同じ著者の本書を読んだ。

5つの短編が収められており、いずれも素晴らしい小説と感じた。「夢化けの島」では、女性の地質学者が、日本海にうかぶ山口県の見島で、陶芸家の父親の作品を再現したい男性と、窯と粘土を探す話である。

「狼犬ダイアリー」は、東京から移住してきた女性デザイナーが奈良県東吉野村で、大家の紀州犬を飼う少年と村の獣医師とともにニホンオオカミを探す物語である。この村はオオカミが最後に捕獲された場所で、オオカミのブロンズ像も建てられている。オオカミから由来したイヌとヒトとの関係が、みごとに描かれている。

「祈りの破片」は、長崎県長与町役場に勤める主人公が、村の空き家で、長崎で原爆が投下された直後に、長崎師範学校（現在の長崎大学教育学部）の地質学者が、原爆の実態を究明するために浦上天主堂などでサンプリングした膨大な岩石、レンガ、コンクリートなどの破片とそれらを記載したノートを発見する話である。地質学者は自らも被爆し原爆症により32歳で亡くなっていたが、その資料は原爆資料館に収められる。

「星隕つ駅通」は、北海道遠軽町白滝地域に落下した隕石をめぐる物語である。北海道の開拓、隕石についての解説と命名法についても述べられている。永年郵便局に勤めた父親を思う娘心が巧みに描かれている。

最後の「藍を継ぐ海」は、徳島県南東部の町に上陸して産卵するアカウミガメをめぐる話である。アカウミガメは、初夏から夏にかけて日本の海岸の砂浜に、夜間に上陸して砂の中に産卵し、約60日で孵化して子亀が海に入って黒潮に乗り、さらに北太平洋海流に乗って3、4年かけてカリフォルニア沖まで行き、豊富なエサを食べて10年ほど成長する。甲長60cmの若亀になる



と、今度は海流を遡って日本近海に戻り、さらに10年かけて成体になり、再び産卵する。北米先住民族ハイダ族の母をもつカナダ人との出会いを通じて、人とカメとの数奇な運命にも迫っている。著者は本書により第172回直木賞を受賞した。

地質学を学び、富山大学助教もつとめた経歴をもつ著者による素晴らしい作品である。研究者らしく、参考文献や謝辞まで付けられていて、著者の誠実さがにじみ出ている。今後の活躍に期待したい。

『藍を継ぐ海』(伊与原新著、新潮社、本体1600円、四六判、272頁、ISBN978-4-10-336214-2、2024年9月25日発行)

行事案内

- ☆2月20日(木)14:00～ 島がミサイル基地になるのか～沖縄問題から平和を考えるつどい ドキュメンタリー映画「若きハルサーたちの唄」上映 会場：かながわ県民センター301号室(3F) 資料代500円 主催：かながわ女性九条の会 連絡先：090-5754-7499(村田)
- ☆2月20日(木)18:00～20:30 再開新ちよぼゼミ第5回「シリーズ戦後改革(第3回):GHQの経済民主化政策」(山田朗明治大学教授) 会場：スペースたんぼぼ(TKiビル3階、水道橋駅西口徒歩4分) 参加費(資料代含む)800円(学生400円) 問合せ:TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797 Email: tanpopo3238@yahoo.co.jp
- ☆2月21日(金)18:00～ 憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝 場所：新宿駅 東南口 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション
- ☆2月21日(金)18:15～21:00 第14回新しい戦前にさせない連続シンポジウム 税金で育つ「死の商人」武器で平和は創れない 日本製武器はウクライナやガザにも！ 会場：文京区民センター3A会議室(後楽園駅4b出口5分、春日駅A2出口徒歩2分) 資料代1000円 申込先：e43k12y(at)yahoo.co.jp に氏名・電話明記で申し込みください。定員300名で締切 主催者挨拶：佐高信 第I部 講演 瀬藤厚(山口大学名誉教授)、望月衣塑子さん(東京新聞記者)、小野塚知二(東京大学名誉教授) 第II部 シンポジウムと会場との質疑応答 コーディネーター：瀬藤厚 パネリスト：望月衣塑子、小野塚知二 主催：共同テーブル(藤田、090-8808-5000)
- ☆2月22日(土)13:00～ 教科書を考える学習会 講演：どうなってる？今の授業と教科書 講師：金馬国晴さん(横浜国立大学教育学部教授) 報告：2024年横浜市中学校教科書採択の報告(横浜教科書採択連絡会) 会場：かながわ県民センター301号室(横浜駅西口徒歩5分) 参加費 500円(大学生以下無料) 主催：横浜教科書採択連絡会 電話 090-9293-8446
- ☆2月22日(土)13:30～ ノーベル平和賞授賞式報告集会 人の道に反する核兵器は廃絶するしかない 会場：鶴見公会堂ホール(JR鶴見駅西口直結) 第一部：コンサート ヴァイオリン 前田みどりさん、ピアノ 山室知子さん 第二部：来賓挨拶 鶴見区選出県議・市議、野末浩之氏、報告：和田征子さん(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長) 挨拶：笠木隆(原水爆禁止神奈川県協議会理事長) 主催：実行委員会 後援：鶴見区役所ほか 問合せ：080-3727-5352(金谷さん)
- ☆2月22日(土)13:30～16:00 在日米軍の性暴力根絶のために 学習会一全体講義&分散会 会場：平和と労働会館3階会議室(桜木町駅徒歩5分) オンライン併用 講師：秋林こずえさん(同志社大学教授) オンライン参加希望者はメール(info@K-peace.org)で連絡願います。主催：神奈川県平和委員会・ジェンダー平等委員会 問合せ：045-231-0103
- ☆2月22日(土)13:30～17:00 第64回教科書を考えるシンポジウム 英語ぎらいはなぜふえるのかー新しい英語教科書を手がかりに 会場：東京労働会館7階ラパスホール(丸ノ内線新大塚駅またはJR大塚駅徒歩10分、zoom併用) 報告：江利川春雄さん(和歌山大学名誉教授)、中学校教師、英語教科書編集者からの報告 協力金800円 問合せ：子どもと教科書全国ネット21(03-3265-7606)
- ☆2月22日(土)14:30～17:00 「日米地位協定とは何か」を学ぶ講演学習会 会場：神奈川労働プラザ多目的ホールB(JR石川町駅中華街口徒歩5分) 講師：伊勢崎賢治さん(東京外国語大学名誉教授) 資料代500円 主催：実行委員会 問合せ：越川(y-koshikawa(at)hotmail.co.jp)
- ☆2月22日(土)18:00～20:00 結成19周年記念第58回憲法学習会 講師：山田朗さん(明治大学教授) 演題：大軍拡路線と新しい戦前 会場：全国教育文化会館地下会議室(麹町駅徒歩2分) 参加費500円 主催：私学九条の会・東京問合せ 03-3230-4091 東京私教連
- ☆2月24日(月・休)13:00～ ウクライナ戦争3周年 ウクライナ・パレスチナの即時停戦シンポジウムⅢ ウクライナ戦争は直ちに停戦！ガザの虐殺を止めよう！市民による対話で東アジアに戦争を起こさせない！ 会場：連合会館(御茶ノ水駅聖橋口徒歩5分) 大矢英代(ジャーナリスト)、羽場久美子(青山学院大学名誉教授)、神谷めぐみ(沖縄アチーブジェンダーエクアリティ共同代表) 大人800円、中・高・専門・大学生・障害者400円、zoom視聴800円、当日券200円増 zoom市長希望者は2月20日までに、1953math(at)gmail.comに申し込みください 主催：実行委員会 申込み・問合せ：090-9142-6180(立山)
- ☆2月24日(月・休)13:30～(14:30～デモ出発) ウクライナに平和を！核兵器をつかうな、原発に手を出さな 場所：日比谷公園大音楽堂(日比谷野音) 共催：さようなら原発1000万人アクション／戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- ☆2月24日(月・休)14:00～ 3.1ピキニのつどい 核の脅威の現在と未来 ラッセル＝アインシュタイン宣言を今に問う 記念講演：鈴木達治郎(長崎大学教授、パグウォッシュ会議評議員) 会場：夢の島マリーナ マリンセンター2階会議室 定員80名 申込不要 資料代500円(学生以下無料) 主催・問合せ：公益財団法人第五福竜丸平和協会(03-3521-8494) 共催：明治学院大学国際平和研究所

- ☆2月24日(月祝) 14:00~16:00 **軍学共同反対連絡会総会** ZOOM開催 議題1 連絡会のこの間の取り組みの経過報告、2 今後の活動について、3 連絡会の役員の体制について、4 学術会議法人化攻撃とどう戦うか、意見交換、5 軍事研究の最近の同国 来年度予算案・イノベーション研究所・能動的サイバー防御法案などについて、6 大学や地域での取り組みの交流 連絡会会員であればどなたでも参加できます。22日までに、連絡会事務局 pokojpeace@gmail.com まで申し込みをお願いします。なお件名に総会参加申し込みと明記して、名前、メールアドレス、所属(大学、学協会、市民団体、お住まいの地域など 特にない方は例えば「大阪市民」などとしてください。また特に話しあいたいことや大学・地域の状況などを簡単にお書きいただければ、4, 5, 6の中に組み込みたいと思います。23日にZOOMのURLを送ります。
- ☆2月25日(火) 13:30~ **第60回中国映画を観る会 海洋天堂(シュエ・シャオルー監督)** 会場: 戸塚区役所3階多目的スペース(中)(戸塚駅西口徒歩1分) 資料代500円 主催: 日中友好協会横浜西南支部 問合せ: 080-2981-3935(大幡)
- ☆2月25日(火) 18:00~ **ストップルトニウム神奈川連絡会 2025年総会&講演会 非核・反原発運動を闘い続けて~平和フォーラムの立場から~** 会場: かながわ県民センター301会議室(横浜駅西口徒歩5分) 6:00~6:30 総会、6:30~8:00 講演と質疑、お話: 藤本泰成さん(前平和フォーラム共同代表・顧問) 参加費無料 連絡先: プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川(090-1507-5193、関口 Kei.miki.1954@gmail.com)
- ☆2月25日(火) 18:00~ **憲法9条改憲NO! ウィメンズアクション** 場所: JR有楽町駅イトシア前 主催: 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 性差別撤廃 Project Team
- ☆2月25日(火) 18:30~20:00 **私たちの要求は前進したのか? 県民の暮らしは良くなるのか? 検証! 神奈川県予算案学習会** 会場: 建設プラザ2階ホール(JR・京急線東神奈川駅東口徒歩5分) オンライン併用: ミーティングID: 867 6273 3819 パスコード: 701482 講師: 神田敏史さん(県民連絡会事務局長) 参加費無料 事前登録不要 主催: 平和で明るい県政をつくる会 連絡先: 045-212-5855(神奈川労連・山田)
- ☆2月27日(木) 13:00~17:30 **福島原発かながわ訴訟第2陣第13回結審** 場所: 横浜地方裁判所 13時~13時30分、事前集会・入廷行動 13時40分頃、傍聴券交付締切 14時~15時、結審・口頭弁論 15時30分~17時30分、報告集会 会場: 横浜市開港記念会館1階1号室 問合せ: 福島原発かながわ訴訟を支援する会(070-1316-4575)
- ☆2月27日(木) 15:00~18:00 **『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会** 会場: かながわ県民センター706号室(横浜駅西口徒歩5分) 市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。問合せ: kura335200(at)star.ocn.ne.jp(倉田) 参加費300円
- ☆2月27日(木) 18:00~ **安保法制違憲かながわの会総会・講演会** 会場: 横浜市開港記念会館2階6号室(みなとみらい線日本大通り駅徒歩2分) 18時から総会 18時40分から講演: 半田滋さん(防衛ジャーナリスト) 問合せ: 045-651-2431(関守麻紀子弁護士)
- ☆3月1日(土) 14:00~16:30 **経済安保版秘密保護法の施行&サイバー防御法案(他国に潜入&無害化?) 反対を共に考えましょう** 会場: 日本キリスト教団・蒔田教会教育館(横浜市営地下鉄蒔田駅徒歩3分) 講師: 海渡双葉さん(横浜合同法律事務所・弁護士) 参加費300円 ライブ配信(YouTube)URL: <https://youtube.com/live/WI-qV0KHH6w> 共催: 日本キリスト教団神奈川教区・秘密保護法反対特別委員会 連絡先: 090-266-4219(久保)、090-4428-1837(東戸塚9条の会事務局・伊藤)
- ☆3月1日(土) 集会: 13時30分 デモ出発: 16時15分 **「日の丸・君が代」の強制をはね返す! 3.1神奈川集会とデモ いまなお家族主義を問いつける一天皇制に抗い、連帯するために一** お話: 堀江有里さん(日本基督教団京都教区巡回教師、信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(ECQA)代表) 会場: 神奈川地域労働文化会館2階 AB会議室(地下鉄阪東橋駅出口1A徒歩2分、京浜急行黄金町駅徒歩5分、JR 関内駅徒歩15分) 資料代500円 問合せ: 090-3909-9657 共催: 「日の丸・君が代」の法制化と強制に反対する神奈川の会、日本基督教団神奈川教区社会委員会ヤスクニ・天皇制問題小委員会
- ☆3月1日(土) 13:30~ **第22回神奈川七沢多喜二祭** 会場: 伊勢原市民文化会館小ホール(小田急線伊勢原駅南口から「東海大学病院行き」バスで「行政センター前」下車徒歩3分) 参加費1200円(当日地支払い、学生・障害者800円) 記念講演: 神村和美さん(城西大学別科准教授)「獄中の中の多喜二ーその芸術的抵抗」 ヴィオラ演奏: 泉恵子さん 朗読: 護柔一さん(京浜協同劇団俳優) 共催: 神奈川多喜二の会、治安維持法国賠同盟神奈川県本部 問合せ: 090-6000-8877(蠣崎)
- ☆3月3日(月) 18:30~ **敵基地攻撃は日本国憲法違反では? 自衛隊の指揮権を日米一体で運用は違憲?** 会場: 鶴見公会堂1号室・2号室(鶴見西口直結) 講師: 長谷川拓也(弁護士) 資料代300円 主催: 鶴見平和フェスティバル実行委員会 申込先: 鶴見区革新懇事務局・金谷(Fax. 045-573-8065、kanakazuo(at)yahoo.co.jp)
- ☆3月5日(水) 14:00~ **松元ヒロ ソロライブ 2025“春”** 会場: 神奈川県民ホール小ホール(みなとみらい線日本大通り駅3番出口徒歩8分) 指定席3500円 問合せ: ごらく茶屋:045-252-2350
- ☆3月8日(土) 12:00~16:00 **さようなら原発 3.8全国集会** 場所: 代々木公園B地区(NHKホール横、原宿駅・渋谷駅徒歩10分) 12時 ミニステージ、13時 オープニングライブ、13時30分 トークライブ: 鎌田慧さん、落合恵子さんほか、福島から、再稼働など原発現地からほか、15時 パレード(渋谷方面、原宿方面) 主催: 「さようなら原発」一千万署名市民の会ほか 実行委員会(03-5289-8224)
- ☆3月9日(日) 13:30~16:30 **今、聞きたい! 内田樹最強対談白井聡 憲法9条を巡る動き 日本は、世界はどこに行くのか** 会場: 鎌倉生涯学習センターホール(JR 鎌倉駅東口徒歩3分) 対談者: 内田樹(神戸女学院大学名誉教授)、白井聡(京都精華大学教授) 入場料1000円(20歳以下無料) 主催: 鎌倉・九条の会 1月27日にチケット完売 問合せ: 0467-24-6590(井上)
- ☆3月9日(日) 13:30~ **神奈川のうたごえ 75周年記念祭典大音楽会~明日の地球へ手渡そう 生命のバトン~** 会場: 神奈川県立音楽堂(桜木町駅徒歩12分) ゲスト: 横浜市立中沢小学校合唱団、アコーディオン合奏: 指揮・森陽介、郷土の太鼓と民舞、「生きるバトン」: 指揮・鶴岡恵 ピアノ・亀井奈緒美、「いのちと平和のバトン」: 指揮・中村拓紀 ピアノ・山中恵、「地球讃歌」: 指揮・真下陽介 ピアノ・堀井泉 全席自由席 一般1500円、中高生・障害者500円、小学生以下無料 主催: 実行委員会 連絡先: 090-2483-8812(河野)

- ☆3月10日(月)12:00~13:00 **国と自動車メーカーはぜん息患者医療費救済制度の創設を決断せよ！日産本社前行動** 場所：日産グローバル本社前（横浜駅東口徒歩7分） 主催：全国公害被害者総行動神奈川共同行動実行委員会など 問合せ：044-211-0391
- ☆3月10日(月)15:30受付開始 **東日本大震災かながわ追悼の夕べ@横浜市役所アトリウム** 14回目の3月11日の前夜、昨年と同様に人々の抱える痛みを思い、ひととき、共に祈りましょう。場所：横浜市役所1Fアトリウムキャンドルステージ 進行予定 16:00 追悼の夕べ開始 三原由起子さんの短歌朗読 ステージトーク 17:35頃~19:00頃 追悼式典 避難者のお話、黙祷 祈りのコンサート(カテリーナ) 併設開催:3.10追悼展@アトリウム1F展示スペース 3月9日(日)12:00~11日(火)18:30 「おれたちの伝承館」中筋純(写真)、青田恵子(詩・布絵)、三原由起子(短歌)、かながわ訴訟原告団(避難者たちの権利回復への闘いの軌跡)
- ☆3月14日(金)12:30~13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR東神奈川駅付近 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会 (045-231-0103)
- ☆3月15日(土)9:30~12:00 **かながわ市民連絡会全体会** 形式：Zoom会議 担当：司会：17区、書記：12区 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360 (内藤繁)
- ☆3月15日(土)13:00~ **2025原発のない福島を！県民大集会** 会場：パルセいいざか(福島市飯坂町、024-542-2121) 被災地フィールドワーク 3月16日(日)8:00~16:00 飯館村長泥地区と伝承館などを視察 事前申込み先：03-5289-8224 (原水禁) 主催：実行委員会 (024-522-6101)
- ☆3月15日(土)13:30~14:30 **第2回フェミブリッジかながわ** 場所：JR桜木町駅前広場 女性のみなさん、ぜひご参加ください♡ 男性のみなさん、バックアップをよろしく願います♡ 問合せ：岸牧子 makiko.seaside@gmail.com、渡邊亜里子 arkw2415@gmail.com
- ☆3月16日(日)10:00~16:00 **第68回神奈川県母親大会 in 平塚** 会場：ひらしん平塚文化芸術ホール(平塚駅西口徒歩8分) 資料代1000円(大学生500円、小中高生無料、障害者500円、介護者無料、全体会のみオンライン視聴1000円、映画協力券500円) 午前の部(分科会)分科会①(大ホール、定員500人)映画上映「教育と愛国」分科会②(大練習室、定員38人)「いま、憲法9条を生かすとき」助言者：渡辺賢二(明治大学平和教育登戸研究所資料館展示専門委員)、分科会③(大会議室AB、定員40人)「介護保険制度を知ろう~ケアする人も、される人も、安心できる制度を」助言者：根本隆(神奈川県社会保障推進協議会事務局長)、分科会④(多目的ホール、定員200人)「安心・安全を子どもたちの未来に~ここまできた環境汚染(放射能、PEASなど)、健康被害」助言者：牛山元美(北央医療生協さがみ生協眼窩・内科内科部長)、分科会⑤(見学と学習分科会、定員20人、要事前申込み)「平塚の戦争遺跡を歩く」案内・助言者：岩田新一(元高校教諭) 集合9時に平塚駅被害改札を出て北口階段下、徒歩で移動 午後の部(全体会、オンライン併用)文化行事 出演：カテリーナ・グシー バンドウーラ演奏、記念講演：鈴木宣弘(東京大学特任教授)「世界で最初に飢えるのは日本?~安全な食と、それを支える日本の農業」、運動の交流、アピール・スローガン採択など 主催：実行委員会 問合せ・申込み：045-641-8815、kanahara(at)hoiku-hahaoya.com
- ☆3月16日(日)13:00~ **日本と中国 平和と友好は音楽から 日中友好音楽のつどい** 会場：横浜健康福祉総合センター4階ホール(桜木町駅徒歩2分) 入場料3000円、前売り券2500円(会員割引あり) 中国古箏・歌(謝雪梅さん)、京劇(張桂琴さん)、舞踊、笛子、三味線・唄(杉田弥生さん) 問合せ・申込み：日本中国友好協会神奈川県連合事務所 問合せ：045-663-0041 主催：日中友好協会神奈川県連合会
- ☆3月22日(土)14:00~ **映画「〇月〇日区長になる女」上映会** 会場：相模大野ユニコムプラザ 前売り900円(当日990円) 定員100にて締切 主催：神奈川20区共同市民の会 連絡先：岡田(090-6957-6539)
- ☆3月23日(日)12:00~ **原発ゼロへのカウントダウン in かわさき第14回集会&デモ** 場所：中原平和公園 主な集会発言：「エネルギーの選択肢として原発がだめなこれだけの理由」FoE Japan 満田夏花さん 「能登半島地震と珠洲原発阻止のたたかい」能登から参加 北野進さん
- ☆3月24日(月)15:00~18:00 **ZOOMセミナー：脳オルガノイドとBMI** 講師：高橋淳さん(京都大学iPS細胞研究所所長)「脳オルガノイドとは」、新川拓哉さん(神戸大学大学院人文学研究科)「人工的存在者の意識と倫理」、澤井努さん(広島大学大学院人間社会科学研究科 特定教授)「脳オルガノイド研究の倫理」 コメンテーター：四ノ宮成祥さん(国立感染症研究所客員研究員)、天笠啓祐さん(市民バイオテクノロジー情報室代表) ディスカッション 司会：島蘭進さん(東京大学名誉教授) 会場との質疑応答 参加費ZOOM代1000円 Zoomの方の事前申込み：Zoom 参加希望者は下記必要事項明記の上 3月22日まで申込みください。申込み時の必要事項は名前、職業、電話番号、メールアドレス 申込み先：E-mail:jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから→<https://forms.gle/QZrcZNcSmupjQNKH9> Zoom 参加の方は事前に下記へ振込みください。郵便局からの送金の場合 口座番号 10290-70860881 他行からの送金の場合 ゆうちょ銀行 028 店(ゼロニハチ) 普通 7086088 口座名義 神野玲子 当日の詳細案内：ZOOM「参加申込みされた方には3月22日ごろにZOOMのURL等を案内します。主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/> 問合せ：090-2669-0413 神野玲子
- ☆3月28日(金)~4月3日(木)毎日10:00~18:00 **福島原発事故14年展~この国の姿を問う~** 会場：かながわ県民活動サポートセンター1F展示場(横浜駅西口徒歩5分) 展示・集会は、次の3つのテーマで考えます。
1. かながわ訴訟11年の歩み~何ができてきたのか、2. 危機の時代に浮かび上がるこの国の姿~何が問われているのか、3. 豊田直巳写真展~消される風景、消えない放射能 期間中は様々なイベントも企画しています。
- ☆3月28日(金)13:30~16:30 **新かながわ俳句愛好者の集い** 会場：かながわ県民センター1502会議室(横浜駅西口徒歩5分) 講師：望月たけしさん(新俳句人連盟副会長) 参加申込み：自作の俳句を1句か2句を添えて新かながわ(電話045-334-7867、info(at)shinkana.jp)に3月15日までに申し込みください。新人歓迎です。
- ☆3月28日(金)19:00~20:45 **ガザで暮らす家族をもつ人々のドキュメンタリー映画『Not Just Your Picture キラーニ 一家の物語』上映会&アフタートーク**(会場・オンライン) 会場：座・高円寺2地下2階(中央線高円寺駅北口徒歩5分)・オンライン(YouTube限定配信) 定員：座・高円寺200名(先着順・当日自由席)・オンライン：なし プログラム 第1部映画上映 日本語字幕付き(約60分) 第2部：アフタートーク 登壇者：安田菜津紀、坂本美雨(約30分) 参加費・座・高円寺：一般2000円、学生1,000円、オンライン：

一般 1000 円、学生 500 円 いずれも一般のみ、認定 NPO 法人 Dialogue for People への寄付つきチケットあり。(いただいたご寄付は、パレスチナをはじめとした Dialogue for People の取材発信活動に役立たせていただきます) 申込締切日 3 月 28 日(金) 19:00 会場参加は定員になり次第、締切予定 主催: 認定 NPO 法人 Dialogue for People 協力: 株式会社 LIFE.14 (配信) 映画: ©2020 Not Just Your Picture 日本語字幕制作: 認定 NPO 法人 Dialogue for People

日本語字幕協力: 高橋美香、瀧元深祈、塩見春乃、赤城みう アフタートーク登壇者: 安田菜津紀(認定 NPO 法人 Dialogue for People、フォトジャーナリスト)、坂本美雨(歌手) 問合せ: 認定 NPO 法人 Dialogue for People 事務局(担当: 西田) メールアドレス: event@d4p.world 主催: DialogueforPeople

☆4 月 4 日(金)～6 日(日) **4 月沖縄行動(辺野古・普天間・うるま)** 主催: 全国革新懇、安保破棄中央実行委員会 行動内容(状況によっては変更することがあります) 1 日目: 4 月 4 日(金) 那覇空港 13:30 集合=普天間飛行場・嘉手納飛行場=沖縄市内ホテル 2 日目: 4 月 5 日(土) ホテル出発 9:00→辺野古・県民大行動→平和丸にて海上行動→宮城島(土砂採石場)→平敷屋公園(ホワイトビーチ)→那覇市内ホテル 3 日目: 4 月 6 日(日) 午前中 学習会「米兵犯罪・日米地位協定改定問題」と「名護市長選・県知事選に向けて」=解散 羽田空港組は那覇空港 15:30 那覇空港 【利用予定ホテル】シングルルーム利用 朝食付き 1 日目 沖縄市内ホテルニューセンチュリー 2 日目 那覇市内スマイルホテル沖縄那覇. 参加申込み: 参加を希望される方は別紙申し込み用紙で安保破棄中央実行委員会に申し込んでください。申し込み締め切りは 2025 年 3 月 12 日(水)とします。但し、航空券、ホテルに定員がありますので、定員(20 人)に達し次第締め切ります。②羽田発の方は航空券の関係上、出発から解散まで同一行動とします。途中離団などはできませんのでご了承ください。羽田→那覇→羽田 航空便+宿泊 2 泊(シングル利用)は団体での予約となります。羽田発 予約該当便は以下の通りです。(時間はいずれも予定です)【往路】ANA469 便 10:30 発/13:00 着 【復路】スカイマーク 520 便 16:45 発/19:00 着 参加費用:(費用は出発前に安保破棄中央実行委員会に振り込んでください) 羽田空港発の方 航空便(羽田/那覇/羽田)+宿泊費 2 泊(シングル利用)+バス代+諸経費 1 人 71,000 円程度となります。(確定後お知らせします) 羽田空港以外から参加の方(那覇空港 13:00 までに到着する航空券をご自身で予約お願いします) 宿泊費 2 泊分(シングル利用)+バス代+諸経費で 1 人 30,000 円程度となります(確定後お知らせします) 費用は出発前に申込書下部に記載の安保破棄中央実行委員会の口座に振り込みをお願いします。

☆4 月 7 日(月) 18:30～ **高校生が自衛隊勧誘を違憲と告訴。奈良地裁での審議は?** 会場: 鶴見公会堂 1 号室・2 号室(鶴見西口直結) 講師: 岡田 尚(弁護士) 資料代 300 円 主催: 鶴見平和フェスティバル実行委員会 申込先: 鶴見区革新懇事務局・金谷 (Fax. 045-573-8065、kanakazuo@yahoo.co.jp)

☆4 月 11 日(金) 12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所: JR 桜木町駅付近 呼びかけ: 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会 (045-231-0103)

☆4 月 20 日(日) 13:30～16:45 **市民が創る横浜市政のつどい** ①市民本位の市政運営と市民活動の在り方の学習、②山中市政・議会の状況や 2025 年度市予算の特徴について、③参加団体・参加者の発言など、④2025 年度市長選挙政策の提案 会場: 横浜市健康福祉センター階ホール(参加予定 250 人、桜木町駅徒歩 3 分) 資料代 500 円(予定) 講演: 榊原秀則(南山大学教授・自治体研究所会員)「地方自治の未来(仮題)」 主催: 市民の市長をつくる会 問合せ: 電話・FAX 045-650-1896 メール mail@y-simin.jp

☆4 月 20 日(日) 14:00～ **あつぎ・九条の会 19 周年「音楽と講演の集い」平和のバトンを若い世代へ「アート・ことば・そして日本が誇るべき平和力」志田陽子さん講演会** 講師: 志田陽子さん(武蔵野美術大学教授、憲法学) オカリナとピアノの調べ(オカリナ: 竹林康子、ピアノ: 田巻真理) 会場: 厚木市文化会館小ホール(本厚木駅南口徒歩 13 分) 参加費: 一般 500 円、学生 300 円、高校生以下無料、当日券 700 円 チケット取り扱い: 厚木市文化会館チケット予約センター(046-224-9999) 主催: あつぎ・九条の会 協賛: 厚木市九条の会ネットワーク 問合せ: 080-5034-3777(北川)、090-3912-6797(大友)

☆4 月 26 日(土) 13:30～16:00 **大学人と日本共産党とのつどい シンポジウム 大学・学術の危機打開の展望を語るー自民党政治の転換点のもとで** 会場: 日本共産党本部多目的ホール(JR 代々木駅徒歩 5 分) & オンライン(YouTube) パネリスト 本田由紀(東京大学大学院教育学研究科教授) / 光本 滋(北海道大学大学院教育学研究科教授) / 丹羽 徹(龍谷大学法学部教授、全国学研会世話人、コーディネーター) / 山添 拓(日本共産党政策委員長・参議院議員) オンライン(YouTube) 参加の方は申込み不要 会場参加希望者は、名前、住所、メールアドレス、所属を記入し、全国学者・研究者後援会事務局宛て、メールまたは FAX でご送付ください。MAIL: gakkenkai@jcp.jp FAX: 03-5474-8397

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業 3 月は幹事会はお休みです。次回は 4 月 15 日です。

日時: 4 月 15 日(火) 14 時 30 分～16 時、14 時 30 分から発送作業、15 時から幹事会の予定。

会場: かながわ総研事務所(横浜市中区不老町 1-6-9 第 1HB ビル 5 階、1 階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの 5 階、JR 関内駅西口徒歩 3 分)、Zoom 参加の案内は後日メールで連絡します。

連絡先: 飯岡ひろし(携帯: 080-1987-0994、E-mail: jsa.kanagawa(at)gmail.com)

次号の原稿の募集: 近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月 10 日ごろの締め切り、15 日ごろの発送です。

送り先: 後藤仁敏(E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052)